

防災特集



その時
あなたはどのように

行動

しますか



▶昭和57年9月の大雨による被害

近年、短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨が頻発し、日本全国で多くの災害が発生しています。平成28年8月には、北海道に相次いで接近、上陸した台風の影響で多くの方が被災し、また、平成29年7月に九州北部を襲った集中豪雨による土砂災害などで甚大な被害を受けたことは、記憶に新しいところではないでしょうか。

普段、日常的に降る恵みの雨も、短時間で強烈な雨となれば、崖崩れや洪水へとつながります。

日本は、山や川、海など、豊かな自然に恵まれており、人々に四季折々の季節の変化に富んだ表情を見せてくれる一方で、古くから台風や大雨、大雪、地震など、多くの災害が発生しています。

大正12年に起きた関東大震災の発生日である9月1日は、災害についての認識を深めるとともに、災害に対する心構えや準備をする契機となるよう、昭和35年に『防災の日』として制定されています。

この機会に、災害への対応について、今一度、考えてみませんか。